

II 平成28年度事業実施状況

食品の安全・安心への関心が高まる中、更に、畜産経営の大型化、口蹄疫及び高病原性鳥インフルエンザの発生や海外からの家畜伝染病侵入の危険性が増大する等、畜産情勢が変化する中で、安全な畜産物の供給と畜産経営の安定を図るためには、家畜衛生対策を適切かつ円滑に推進することが重要である。

家畜保健衛生所では、家畜伝染病の発生予防と家畜疾病による損耗を防止するための予防衛生対策を講じるとともに、生産段階における家畜の飼養衛生管理基準遵守の徹底を推進するなど、状況の変化に的確に対応しながら各種事業を実施している。

1 家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号 以下「予防法」）の規定に基づき、家畜伝染病及び家畜伝染性疾病の発生とまん延を防止し、家畜飼養者をはじめ、獣医師、市町、関係団体等と連携し家畜防疫体制の強化を図る。

(1) 主な検査と対象家畜

予防法第5条の規定に基づく発生予防又は発生予察のため、主に以下の検査を実施した。

ア ブルセラ病、結核病及びヨーネ病

(ア) 搾乳の用に供し、又は供する目的で飼育している牛及びその同居牛

(イ) 放牧予定の乳用牛及び放牧場で飼育されている乳用牛

(ウ) 種付けの用に供し、又は供する目的で飼育している雄牛

イ ヨーネ病

(ア) 繁殖の用に供し、又は供する目的で飼育している肉用雌牛

ウ 馬伝染性貧血

(ア) 競馬に出場させる目的で飼育している馬

(イ) 乗馬クラブ等に飼育されている乗用馬

(ウ) 繁殖の用に供し、又は供する目的で飼育されている雌馬

(エ) 種付けの用に供し、又は供する目的で飼育している雄馬

エ 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

100羽以上鶏を飼養している農場のうち、家畜保健衛生所長が選定した農場で飼養されている鶏

オ 腐蛆病

管内に飼育されている蜜蜂であって、家畜保健衛生所長が必要と認める蜜蜂

カ 牛のアカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症、イバラキ病及び牛流行熱

未越夏でワクチンを接種していない牛

その他、公共牧場に放牧された乳用牛に対する定期的な衛生検査(臨床検査、血液検査、寄生虫検査、牛体消毒等)、養豚場の清浄度を確認・維持するための豚コレラ、オーエスキー病等の検査、監視伝染病の疑いのある家畜及び不明疾病に対する病性鑑定等を実施した。

(2) 主な検診・検査等の概要

事業名	区分	実績 (頭羽数)	検査結果(頭羽数)			備考
			陰性	疑陽性	陽性	
検診・検査	ブルセラ病	6,780	6,780	0	0	告示 6,713頭 告示外 67頭
	結核病	6,775	6,775	0	0	告示 6,713頭 告示外 62頭
	ヨーネ病	15,629	15,622	0	7	告示 8,528頭 告示外 7,108頭
	牛海綿状脳症 (採材業務)	2,363	2,363	0	0	告示(県内牛)2,357頭 告示外(管内牛) 6頭
	集団検査	905	ヒ°ロ 889 BLV 697	0	ヒ°ロ 16 BLV 208	放牧予定牛
	牛伝染性疾病検査	136,905	136,905	0	0	臨床検査
	馬伝染性貧血	50	50	0	0	告示 31頭 告示外 19頭
	馬伝染性子宮炎	2	2	0	0	細菌検査
	馬パラチフス	1	1	0	0	抗体検査
	馬伝染性疾病検査	53	53	0	0	臨床検査
	豚コレラ	150	150	0	0	抗体検査
	オーエスキー病	2,379	2,379	0	0	抗体検査
	PRRS (豚繁殖・ 呼吸障害症候群)	751	333	0	418	抗体検査
	豚流行性下痢	152	131	0	21	抗体検査
	豚伝染性疾病検査	277,162	277,162	0	0	臨床検査
	高病原性鳥インフルエンザ 低病原性鳥インフルエンザ	520	520	0	0	告示 410羽 定点モニタリング 340羽 強化モニタリング 70羽 告示外 110羽
	鶏伝染性疾病検査	1,020,907	1,020,907	0	0	臨床検査
	腐蛆病	2,010	2,010	0	0	告示 1,453群 告示外 557群
その他	着地検査	3件				馬1件1頭、豚2件11頭
	畜舎消毒	1回				
	自衛防疫指導	4回				

(3) 家畜伝染病予防法第5条に基づく検査

ア 乳用牛繁殖雌牛のブルセラ病、結核病及びヨーネ病検査

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	20	39	9	20	5	93
検査頭数	1,870	1,676	529	1,554	230	5,859

【検査成績】ヨーネ病：大田原市1戸1頭、那須町1戸1頭陽性（患畜）、その他は全例陰性

イ 肉用繁殖雌牛のヨーネ病検査（酪農家の飼養牛（338頭）を除く）

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	0	104	0	0	0	104
検査頭数	0	1,477	0	0	0	1,477

【検査成績】全例陰性

ウ 放牧予定牛のブルセラ病、結核病及びヨーネ病検査

※公共牧場に入牧予定の乳用育成牛を検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	24	45	2	12	1	84
検査頭数	153	369	20	182	15	739

【検査成績】全例陰性

エ 種畜（種雄牛）のブルセラ病、結核病及びヨーネ病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	1	3	0	1	0	5
検査頭数	6	5	0	4	0	15

【検査成績】全例陰性

オ 死亡牛の牛海綿状脳症（BSE）検査（法5条に基づく検査）

（搬入頭数）

市町	乳用牛		肉用牛		計
	ホルスタイン	その他	黒毛和種	交雑種	
大田原市	196	1	18	0	215
那須塩原市	941	6	37	1	985
那須烏山市	51	0	14	0	65
那須町	212	3	31	0	246
那珂川町	38	0	11	0	49
計	1,438	10	111	1	1,560

【検査成績】全例陰性

※当所は、附属施設で死亡牛の受付、検体採取・送付（原則翌日）、死亡牛の一時保管及び陰性確認後の搬出作業を実施（月曜～金曜。土曜・祝日は受付・搬入のみ業者委託）。

ELISA検査は県央家畜保健衛生所家畜衛生研究部で実施（原則採材翌日）。

カ 馬伝染性貧血検査

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	0	12	0	6	0	18
検査頭数	0	18	0	32	0	50

【検査成績】 全例陰性

キ 蜜蜂の腐蛆病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	11	20	13	20	11	75
検査頭数	380	697	143	28	205	1,453

【検査成績】 全例陰性

ク 牛流行熱等抗体調査

病名	戸数	頭数	6月		8月		9月		11月	
			<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦
アカバネ病	7	39 (11月 は38)	24	15	32	7	39	0	38	0
チュウザン病			39	0	39	0	39	0	38	0
アイノウイルス感染症			39	0	39	0	39	0	38	0
イバラキ病			39	0	39	0	39	0	38	0
牛流行熱			39	0	39	0	39	0	38	0

※大田原市1戸、那須塩原市2戸、那須烏山市1戸、那須町1戸、那珂川町1戸

【検査成績】 各疾病とも流行は認められなかった。

ケ 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

(ア) 定点モニタリング検査

毎月1回、管内の3農場において、6週齢以上の鶏10羽のウイルス分離検査と血清抗体検査を実施した（ウイルス分離検査は県央家畜保健衛生所家畜衛生研究部で実施）。

対象農場	検査内容	検査成績
3戸 (那須塩原市、那須町、 那須烏山市)	ウイルス分離※ (気管スワブ、クロアカスワブ) 血清抗体検査	全例陰性

(イ) 強化モニタリング検査

10月から5月にかけて、管内7農場の鶏各10羽について、各農場1回血清抗体検査を実施した。

対象農場	検査成績
7戸 (大田原市1戸、那須塩原市3戸、 那須烏山市1戸、那珂川町2戸)	全例陰性

(4) 家畜伝染病予防法第51条に基づく検査

ア 乳用牛のヨーネ病検査

牛のヨーネ病防疫対策要領に基づくカテゴリーⅡ農場において、清浄化推進のための検査を実施した。

対象農場戸数	検査頭数		検査成績
	抗体検査	リアルタイムPCR検査	
8戸 (大田原市3戸、那須塩原市4戸、 那須町1戸)	2, 433	3, 449	5頭患畜 4頭自主とう汰

イ 牛白血病

清浄化対策推進のために清浄化対策実施農場において検査を実施した。

検査方法	検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
抗体検査 (ELISA)	9	480	202	278
PCR検査	12	160	81	79
リアルタイムPCR検査	12	114	101	13

ウ 豚コレラ

清浄性の確認のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	検査成績
15	150	全例陰性

エ オーエスキー病

清浄化対策推進のために抗体検査を実施した。また、種豚生産農場の出荷予定豚について検査し、陰性豚の流通に努めた。

検査戸数	検査頭数	野外抗体 陽性頭数	野外抗体 疑陽性頭数	野外抗体 陰性頭数
37	2, 379	0	0	2, 379

オ PRRS (豚繁殖・呼吸障害症候群)

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
16	751	418	333

カ PED (豚流行性下痢)

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
5	152	21	131

キ ニューカッスル病

抗体検査結果をもとに適切なワクチン接種を指導した。

戸数	羽数	<2	2	4	8	16	32	64	128	256	512	1024	≤2048
14	320	57	15	24	35	39	38	32	35	34	7	4	

ク 鶏マイコプラズマ病

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

病原体名	検査戸数	検査羽数	陽性羽数	疑似羽数	陰性羽数
マイコプラズマ・ガリセプチカム	14	350	202	0	148
マイコプラズマ・シビエ			225	0	125

コ 施設園芸用蜜蜂の腐蛆病検査

イチゴハウスで受粉に利用される蜜蜂の検査を実施するとともに、飼養者に対し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査群数	検査成績
12戸 (那須烏山市1戸、那珂川町11戸)	78	全群陰性

(5) その他の検査

ア 乳用育成牛（放牧予定牛）の集団検査等

放牧場での伝染性疾病のまん延防止のため、放牧予定牛について各種検査を実施した。

病名	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
牛白血病	908	16	889
ピロプラズマ病	908	208	697
BVD・MD	908	0	908

イ 放牧牛衛生検査

管内3か所の公共牧場において、定期的に放牧牛の衛生検査を行い、各種疾病の早期発見及び早期治療に努めた。

(ア) 放牧状況

区分	大田原市 大野放牧場		那須塩原市 八郎ヶ原放牧場	那須共同利用 模範牧場
	乳用牛	和牛	乳用牛	乳用牛
放牧期間	H28.4.14～ H28.11.4	H28.5.13～ H28.11.4	H28.5.18～ H28.10.27	H28.4.21～ H28.12.6
放牧頭数	45	35	72	323
衛生検査回数	9	8	7	9
主な疾病	真菌症、 パピローマ	なし	なし	ピロプラズマ病1頭 陽転、真菌症、 パピローマ
備考				周年預託牛166頭

(イ) 衛生検査検査成績

a ピロプラズマ病

(陽性頭数/検査頭数)

牧場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大野放牧場	0/9	0/9	0/19	0/22	0/11	0/15	0/10
八郎ヶ原放牧場			0/22	0/26	0/13	0/13	0/12
那須模範牧場		0/38	0/47	*2/53	0/24	1/24	0/24

*陽性牛は同一牛

b 牛肺虫症

(陽性頭数/検査頭数)

牧場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大野放牧場					0/10	0/10	
八郎ヶ原放牧場					0/10	0/10	
那須模範牧場					0/20	0/15	

ウ 家畜伝染病予防法第52条に基づく報告徴求

高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザの発生予防に資するため、管内の家きん100羽以上（だちょうは10羽以上）を飼養する農場から毎月1回、1か月間の死亡羽数及び産卵率の報告を求めた。

区分	採卵	肉用	種鶏 (採卵)	種鶏 (肉用)	放鳥 (きじ)	展示 (だちょう)	計
1,000羽以上	12	3	2	2	2	0	21
100羽以上*	11	0	0	0	0	0	11
計	23	3	2	2	2	0	32

(6) 病性鑑定

獣医師や飼養者からの依頼により、不明疾病の原因究明のための検査を実施するとともに防除のための衛生指導を実施した。

ア 市町別の病性鑑定件数及び頭羽数 (総件数：延べ200件 総頭羽数：延べ951頭羽)

畜種	大田原市		那須塩原市		那須町		那珂川町		那須烏山市		計	
	件数	頭数	件数	頭数	件数	頭数	件数	頭数	件数	頭数	件数	頭羽数
乳用牛	9	10	53	659	16	18	0	0	6	20	84	707
肉用牛	23	48	29	44	28	54	9	14	10	18	99	178
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	1	6	2	2	1	1	0	0	2	2	6	11
緬山羊	0	0	5	5	1	8	0	0	0	0	6	13
鶏	1	10	0	0	1	18	0	0	0	0	2	28
その他	0	0	1	1	1	3	1	10	0	0	3	14
計	34	74	90	711	48	102	10	24	18	40	200	951

*その他：環境等

イ 市町別の病性鑑定検査材料別の検体数

(総検体数：1,063検体)

検査材料	大田原市	那須塩原市	那須町	那珂川町	那須烏山市	計
糞便	26	431	57	0	10	524
死体及び生体	16	28	20	13	7	84
血液	36	265	31	3	27	362
乳汁	0	0	0	0	0	0
その他	34	7	40	0	12	93
計	112	731	148	16	56	1,063

その他：鼻腔拭い液、敷料、環境ふきとり等

ウ 平成 28 年度に診断された主な感染症

【牛】 下痢症：牛ロタウイルス病、牛コロナウイルス病、サルモネラ症（カヒネリ・テイフィウム）、
クリプトスポリジウム症、牛コクシジウム病、乳頭糞線虫症、牛消化管内線虫症
呼吸器病：牛RSウイルス病、牛コロナウイルス病、牛パスツレラ（マンヘミア）症、
牛マイコプラズマ肺炎、ヒストフィルス・ソムニ感染症
その他：牛ウイルス性下痢・粘膜病（持続感染牛）、牛丘疹性口炎

【豚】 豚丹毒

【鶏】 鶏コクシジウム病

【蜜蜂】 アカリンダニ症